

令和7年4月

令和7年度 学校経営方針

渋谷区立千駄谷小学校

校長 山 中 将 一

<本校の教育目標>

これからの国際社会において信頼と尊敬の得られる豊かな人間性を育てるために教育目標を定める。

- ・ 自分もまわりも大切にする子供（重点目標）
- ・ めあてをもって学び続ける子供
- ・ 心身ともにたくましい子供

『世界に羽ばたく千駄谷の子』

<目指す学校像>

「はばたけ未来へ 笑顔いっぱい 緑の千駄谷」

すべての子どもが、毎朝笑顔で登校し、友達や先生方と楽しく学び、「今日も千駄谷小学校で勉強できてよかった。楽しかった。」と満足して帰る、笑顔あふれる学校づくり

<基本方針>

安全・安心で、一人一人が楽しいと感じる学校は、
教職員と保護者・地域が同じ価値観をもって協力すること

◎ 自分もまわりも大切にする子供（重点目標）

○「多様性の尊重」を合言葉に、互いのよさや違いを素直に認め合える子供を育む

- ① 相手を思いやる温かい言葉が通い合う言語環境の実現
- ② ありのままの存在が受け入れられ、自分の居場所がある学校環境の実現
- ③ 友だちの喜びや悲しみに共感しようとする態度の育成
- ④ 自分自身を大切な存在と感じられる自己肯定感の高まりを意識した教育活動の実現
- ⑤ 人権教育、道徳教育の推進し、命を大切にする態度の育成
- ⑥ 異なる価値観を認める広い心の育成

◎ めあてをもって学び続ける子供

○主体的に学ぶことを通じて、他者や社会に新たな価値を創造する子供を育む。

- ① 主体的に学ぶことの楽しさを実感できる子供の育成
- ② 興味や関心をもったことを追求し、学びを広げていく子供の育成
- ③ 自分の思いや考えを自分の言葉で伝え合うことのできる子供の育成
- ④ 学んだ結果が他者の役に立つことを実感できる子供の育成
- ⑤ 地域の人との触れ合いの中から、地域に愛着と誇りをもつことができる子供の育成

◎ 心身ともにたくましい子供

○「健康な身体づくりと体力アップ」を合言葉にたくましい子供を育む

- ① 困難な事に対しても乗り越えていこうとする「たくましく精神力」の育成
- ② スポーツや遊びを通じて、身体を動かすことを好む子供の育成
- ③ 自分の心と体に関心をもち自ら健康で過ごそうとする子供の育成
- ④ 食物の好き嫌いをせず、体を鍛えてたくましい身体をつくろうとする子供の育成

＜令和7年度の重点項目＞

☆シブヤ未来科、探究学習の充実：千駄ヶ谷や渋谷への愛着を高め地域社会へ貢献

- ※日常生活から「問い」（疑問に思うこと）を見出し、自分で課題を立てる力。
- ※「問い」を他者と一緒に解決していき、学んだことを仲間や地域へ発信する。
- ※地域の商店街、企業、自然環境などと連携した授業の展開
- ※学びのスキルの獲得 ICT の活用、コミュニケーション力、プレゼン力の育成
- ※探究学習の考え方・学び方を各教科に反映する。各教科とシブヤ未来科や生活科との関連

☆ICT機器の活用：「＜渋谷スタイル＞～いつでも・どこでも・学校ICT～」の推進

- ※学習者用デジタル教科書の積極的な利活用と個に応じた学習のための利用
- ※一斉学習・グループ学習・個別学習のほかに家庭学習でのタブレットの活用
- ※活用による学級、学年、学校を越えた学習の実現
- ※SNS利用マナー『せんしょうよい子のタブレットルール』の徹底

☆子ども主体の「未来の学校」づくりの推進

- ※子ども主体の対話による学校をよりよくする取り組みの推進・委員会活動の充実
- ※学校運営への参画・・・子どもの話し合い活動の充実と深化
- ※学校のルールの見直しを子どもの意見を反映しながら行う
- ※行事や教育活動を通じてのなかよし園との交流・原宿外苑中学校との連携

＜主な教育内容とその方針＞

○学力の向上：個別最適な学びの実現と基礎的・基本的な学習内容の確実な定着

- ※教員の専門性を生かした単元担当制及び教科担任制の試行
- ※放課後補習教室「まなび～」の実施による基礎基本的内容の定着
- ※異文化理解、コミュニケーション力育成をめざす外国語活動の充実

○基本的生活習慣の確実な定着：きまりをまもり誰もが気持ちよく過ごせる環境

- ※あいさつあふれる学校づくりの推進・・・ふれあいのための第一歩
- ※学校のきまりを守り、規律ある態度の育成

○いじめの未然防止と早期対応：いじめは人権侵害、許されない行為

- ※「千駄谷小いじめ防止基本方針」「いじめ防止未然取組年間指導計画」に基づく計画的な指導
早期発見早期対応 その後の見守りにより、寄り添った指導の実施
- ※いじめ防止のための授業 SOS の出し方の授業の実施

○安全教育・健康教育の推進：危険回避能力の育成と体力の保持増進

- ※災害対応、交通安全、不審者対応、インターネット事故防止・・・セーフティ教室の実施
- ※芝生の校庭での外遊びの奨励、食育の推進と食物アレルギー対応の徹底

○特別支援教育の充実：多様性の理解と誰もが居場所のある学校の実現

- ※誰一人取り残さない教育、個々の学び方に応じた特別支援教育の実施
- ※ユニバーサルデザインの視点を加えた授業づくり

○特別活動の充実：異年齢集団・全校児童の取組 キャリア教育の側面

- ※縦割り異年齢グループ「かやのみ班」活動により、支えあう思いやりの心の育成
- ※鼓笛隊（管楽器クラブ）の活動を通じて、地域社会との交流
- ※全校集会・全校遠足などを通じて高学年児童のリーダーとしての自覚の育成